

大学院生国内短期留学報告書

理学研究科 高分子科学専攻 青島研究室 D2 瀬野 賢一

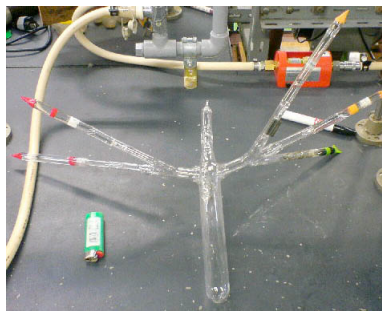
研究機関(留学期間)

- ・ 東京大学 物性研究所 柴山研究室 (2006.3.13)
- ・ 横浜国立大学大学院 工学府 渡邊・今林研究室 (2006.3.14)
- ・ 東京大学大学院 工学系研究科 加藤研究室 (2006.3.15)
- ・ 東京工業大学大学院 理工学研究科 石曽根研究室 (2006.3.16)

私は2006年3月13日から16日までの4日間、インタラクティブ大学院教育の一環である大学院生国内短期留学プログラムにより、関東地区において第一線でご活躍である様々な研究室に訪問させていただきました。

今回は、中性子散乱法等を用いた組織体の構造解析を専門とする東京大学物性研究所柴山研究室、イオン液体や感温性高分子を利用した電気化学を専門とする横浜国立大学大学院工学府渡邊・今林研究室、種々の液晶や有機・無機ハイブリッド材料の創製を専門とする東京大学大学院工学系研究科加藤研究室、リビングアニオン重合を用いた機能性高分子の合成を専門とする東京工業大学大学院理工学研究科石曽根研究室内の各研究室に1日ずつ留学させていただき、各専門分野について学ばせていただきました。

いずれの研究室におきましても非常に丁寧に対応していただきまして、有意義に各分野を学ぶことができました。その研究室ならではの器具、装置等の説明、研究室の方々とのディスカッション、懇親会など何もかもが新鮮でした。特に今回は誠にありがたいことに、お忙しい中、各先生方がお時間を割いてくださって、ディスカッションをしていただいたり、直々に実験のデモンストレーションをしてくださったりと本当によくしていただきました。右の写真は、当日東京工業大学石曽根先生に直々にリビングアニオン重合をデモンストレーションしていただいた時のもので、自分とは異なる合成法に感動の連続だったことを覚えております。



当日石曽根先生に作成いただいたリビングアニオン重合用ガラス器具

1日1研究室と短いものでしたが、自分とは異なる様々な分野と直にふれることができ、非常に多くのものを得ることができました。さらに、様々な研究室の方々とも交流を深めることができ、人と人とのつながりも広げることができました。このようなことは、このプログラムを用いることなしにはなかなか難しいことだと思います。私自身、他分野の知識を得たばかりではなく、様々な分野の方に人脈が得られたことは、これからの研究生活に大きなプラスになったと感じております。今後このようなプログラムにより私のように貴重な経験をされる方が増えることを願うばかりです。

最後になりましたが、このような機会を与えていただいたインタラクティブプログラム、急なお願いにも関わらず快く国内留学の件をお引き受けくださり、お世話になりました柴山先生、渡邊先生、加藤先生、石曽根先生、および各研究室の学生の方々、またその他様々な面でサポートいただいた事務の方々に心より感謝致します。